

學 藝 新 聞

第14号
2019年（令和元年）12月21日発行

- OGCIS公式開校……………1
- OGCIS・短期留学／語学研修……………2
- 附属中 校外学習……………3
- 輝く人（卒業生・在校生紹介）……………4・5
- 高校 校外学習・地域活動……………6・7
- 学芸スポーツ……………8

発行元
学校法人 大阪学芸
大阪学芸高等学校
大阪学芸高等学校附属中学校
〒558-0003 大阪市住吉区长居1丁目4番15号
TEL.06-6693-6301 FAX.06-6693-5173



大阪学芸カナディアン・ インターナショナルスクール(OGCIS) 公式開校記念式典開催

10月26日（土）、大阪学芸カナディアン・インターナショナルスクール(OGCIS)の「公式開校記念式典」が、ホテルニューオータニ大阪において開催されました。（2面へつづく）



国際科
国際的な視野を持つ
人材を育成

ダブルディプロマ
コース

海外有名大学・
国内難関大学
(理系／文系)

- ・日本とカナダ、2つの高校卒業資格を同時取得
- ・最高水準の教育で世界の大学へ進学が有利
- ・授業の60%以上がALL ENGLISH

1年留学
コース

1年留学
※1

難関私立大学
(国際関係・
外国語系など)

- ・充実した留学制度で英語力と国際感覚を育成

普通科
希望進路にあわせた
多彩なコース

選抜特進コース

2学年進級時にコース変更可能
※2

国公立・難関私立大学
(文系／理系・看護)

- 特進理数コース
- 特進看護コース
- 特進コース
- 進学コース
- 特技コース

- 難関私立大学 (理系)
- 看護系大学
- 難関私立大学 (文系)
- 有名私立大学 (文系)
- 大学・専門学校・
プロ選手など

重点クラブ
地域活動

国際科・普通科ともに、全コースでクラブ活動ができます

※1 1年留学ができない際は、進路変更となる場合があります。
※2 進路目標や適性などにより変更できない場合があります。一部、習熟度別クラス編成を採用しています。

学芸ニュース

OGCIS公式開校記念式典

日時:2019年10月26日(土) 13:30~
場所:ホテルニューオータニ大阪



メイヒュー局長双方が認可書にサインし、メイヒュー局長より森松校長に対して正式に認可書が手渡されました。最後に森松校長が「2017年5月、日本初のBC オフショアスクールである文化学園大学杉並高校 (BSCIS) を視察訪問して以来、多くの関係者の協力とご尽力により、本年4月、OGCISは無事開校することが出来た」と感謝の言葉を述べるとともに、「OGCISと大阪学芸高校がともに教育を行うことで、生徒達が人間性豊かな素晴らしい人物として世界で活躍してくれることを確信している」と挨拶を締めくくりました。

すべてのセレモニーが終了した後、出席者全員の記念撮影が行われました。本式典には複数の新聞記者が取材に訪れ、生徒代表へのインタビュー、また式典後に別室で行われたメディア発表会で熱心な質疑応答が行われるなど、OGCIS/大阪学芸高校ダブルディプロマコース (DDコース) に対する社会的関心の高さが窺われました。

歴史的な一歩を踏み出したOGCISの今後に大いに期待したいと思います。



大阪学芸カナディアン・インターナショナルスクール (OGCIS) 公式開校記念式典は、本年4月に開校したOGCISに対し、カナダ・ブリティッシュコロンビア州 (BC州) 教育省が「公式開校認可証明書 (British Columbia Certification)」を授与する重要なセレモニーです。式典には、OGCIS第1期生・12名とその保護者、OGCISのダグラス・イボット、大阪学芸高校の森松浩毅 両校長と関係教職員が出席し、学校法人 大阪学芸からは伊丹耕治理事長を始めとする役員が多数出席しました。当日は高等学校国際科のゲイブリエル・エストラダ先生とローレン・アレン先生が英語で司会を務めました。式典の進行・挨拶・説明等は、会場内に配置したプロの通訳者によって交互に英語と日本語で紹介され、まさにOGCISの式典に相応しい国際色溢れるセレモニーとなりました。

まず、来賓として出席された在日カナダ大使館のマット・フレイザー参事官、大阪府教育庁私学課の近藤未生課長が、それぞれ祝辞を述べられました

(近藤課長は吉村大阪府知事の祝辞代読)。次に、OGCISのダグラス・イボット校長が「OGCISの生徒を誇らしく思うとともに、保護者・教員を始め、すべての関係者に感謝したい」と挨拶されました。続いてOGCIS第1期生を代表して1年A組・近藤匠さんとショウ英美さんの二人が「今後とも自らを成長させるべく努力を続けながら、OGCISで有意義な経験を積んで行きたい」と、英語と日本語で立派に抱負を述べました。

この後、マーガレット・コンボBC州海外校代表者が、BCアカデミック・プログラムの説明 (DVD上映含む) を行いました。続いてBC州を代表し、同州教育省・国際教育局のマーニー・メイヒュー局長が「世界で47校、日本では2校目のBCオフショアスクール (海外校) となるOGCISの開校を心より祝福申し上げたい。BC州と日本の両方の優れた教育プログラムによって、生徒達は立派に成長を遂げて欲しい」と挨拶を述べました。これに引き続き、壇上で森松校長・

オーストラリア語学研修 報告



今年度の語学研修は、35名で15日間オーストラリアに滞在しました。研修期間中、基本的に午前中は全員で英会話学習を行い、午後からはセントアンドリュース校でバディの生徒たちと現地の授業に参加しました。当初、オールイングリッシュの授業に戸惑う場面や、ホストファミリーとの会話に苦戦する姿が見られましたが、現地の授業や行事を通してオーストラリアの習慣や文化に触れるうちに、生徒たちにも少しずつコミュニケーションに対する余裕が出てきました。また、滞在中には、オーストラリアならではの自然あふれる場所に出かけた生徒も多く、日本との違いを肌で感じたのではないのでしょうか。

最終日のフェアウェルパーティーで、生徒たちはバディやホストファミリーと出発時間ぎりぎりまで別れを惜しみながら、写真を撮ったり、手紙やプレゼントの交換をしたりしていました。帰国後、「いい経験ができた」「もう一度オーストラリアに行ってみよう」と話してくれる生徒もおり、今回の語学研修が生徒たちにとって貴重な経験になったようです。引き続き、ホストファミリーやバディ達と交流を続けてくれることを願っています。



Sooke 短期留学 報告

2019年7月12日から約5週間、1年A組はBC州必修教科Social Studies10を取得するために、カナダ・ブリティッシュコロンビア州のSookeへ短期留学に行きました。12人の生徒の中には、この短期留学が初めての海外になる生徒や、英語での授業に戸惑い、不安に思っている生徒も多かったです。しかし、しっかりと事前準備をしたことにより、出発時には、現地高校Belmont Secondary Schoolでの授業やホームステイを心待ちにするまでになりました。

現地での生活については、午前中はSocial Studies10の授業でした。「人権とは何か」、「カナダの行政構造」、「First Nation Peopleと呼ばれる原住民理解」、そして「第一次・第二次世界大戦について」など、現地の高校生が受けている授業と同じ内容の学習に取り組めました。A組の生徒にとって難しい内容ばかりでしたが、互いに助け合い、教え合いながら、困難にも食らいついていく姿が見られ、成長を感じました。そして、午後からは様々なアクティビティを通して、カナダの文化や生活を体験することができ、また、現地大学を訪問し、日本の大学以外の進路について考えるきっかけとなりました。

滞在中には、バンクーバーへの日帰り学習旅行を行い、ブリティッシュコロンビア大学やバンクーバーの名所にも訪れることができました。

ホームステイでは、自分の思いをいかに表現していくかを考え、「相手に届く英語の表現方法」を見つけようと努力しました。どのホストファミリーも本当の家族のように接してくださったため、生徒たちにとってかけがえのない出会いとなりました。

5週間のカナダ短期留学は長いようで短く、しかし多くの成長を感じ取ることで経験となりました。助け合うことがいかに大切か、自分の思いをどのように表現すべきか、また、苦手や不安とどのように向き合っていくかなど、生徒ひとりひとりしっかりと互いのことを考え、OGCIS生としての自覚と自尊心を高めることができたと感じています。



1・2
年生

附属中学校

校 外 学 習

恒例行事「信太山でのカレー作り」

日時：10月18日（金） 場所：大阪市立信太山青少年野外活動センター

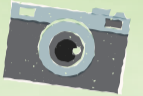
いつもどおりに登校し、着替えて整列、貸し切りバス4台で、さあ出発！1時間ほどで野外活動センターに到着し、施設の方から説明を聞いた後は、班ごとに器具の準備、調理をはじめます。

昨年度にカレー作りを経験済みの2年生は手際よく調理を進めていきます。調理台では見事な包丁さばきを披露、そして綿密に計算された薪の組み方により、かまどの火の準備も万端！抜群のチームワークにより、おいしそうなお飯とカレーが次々とできあがります。

その一方、初体験の1年生の調理台はとてにぎやか。「野菜の切り方はこれでいいの？」「どうやって皮むくの？」「お米ってどのくらいまで研いだらいい？水加減は？」となかなか心許なげな会話が飛び交います。かまど係も「火がつかないよ～」と悪戦苦闘。しかし、みんなで力をあわせた結果、無事にカレーもご飯も完成！

自分たちで作ったおいしいカレーを味わった後は、食後の運動で広場を駆け回ったり、昆虫採集や植物採集に精を出したり、友達と語り合ったり……。途中ばらばらと小雨が降りましたが、充実した一日となりました。

1年生
スナップ写真



2年生
スナップ写真



3
年生

附属中学校

班 別 自 主 学 習

事前の計画立案から当日の実行まで、自主性・計画性・協調性・行動力を身につけました！

日時：10月18日（金） 奈良公園周辺（興福寺・東大寺・若草山・春日大社など）

中学3年生は奈良公園周辺で、世界遺産をはじめとする日本の伝統文化に触れる散策をしました。9時半に興福寺近くの広場に集まった後、五重塔前に移動しクラス写真を撮影しました。そして、いよいよ班別行動のスタートです。再集合・解散までに3つのチェックポイント（東大寺・若草山・興福寺）を経由するオリエンテーリング形式ですが、それ以外の行程については班ごとに事前に話し合いをしながら決めました。

東大寺のスケールの大きさに圧倒されたこと。若草山の緑きれいな山肌を登り、奈良の街を見渡し感動したこと。春日大社の厳かな雰囲気、身をもって経験したこと。鹿に追い回されて、悲鳴にも似た叫び声をあげ、逃げ惑ったこと。各チェックポイントや道中で、各班のいろいろな話を聞き、様子を見ることができました。

チェックポイントを通過する時間帯はあらかじめ決められており、「時間通り来るだろうか・・・」と不安を感じることもありましたが、道に迷った班は、先生に電話をしたり、途中で会った別の班に聞いたり、と自分たちの力で解決し、どの班も時間に遅れることはありませんでした。

朝から空模様があやしく、途中雨もばらついては止みの繰り返しでしたが、何とか解散まで持ちこたえてくれました。（解散後、近鉄奈良駅までの道中ざあとききましたね）普段、テレビや写真でしか見ることのない歴史的建造物や文化財に触れ、改めていにしえに思いを馳せることができた一日ではなかったでしょうか。

1組



2組



卒業生の活躍



誰かのためになる仕事がしたい!!

2009年度卒業生

ふくしま ぎんじろう
福島 銀史郎さん

国民生活と密接しているがゆえ、日々プレッシャーを感じる厚生労働省の仕事。
自分の知らない誰かが安心して暮らせる制度を創りたいと
やりがいを感じながら仕事に邁進する福島さんにお話を伺いました。



プロフィール 福島銀史郎 2009年度卒業生

- 2010年3月 大阪学芸高等学校 卒業
- 2011年4月 神戸大学法学部法律科入学
- 2015年3月 神戸大学法学部法律科卒業
- 2015年4月 神戸大学法科大学院 入学
- 2017年3月 神戸大学法科大学院 卒業
- 2018年4月 厚生労働省 入省
- 2018年4月 健康局結核感染症課 配属
- 2019年8月 健康局難病対策課 併任 現職

どのような高校生活を送って いましたか

入学から卒業まで、大学受験に向けて、毎日勉強していました。平日は4~5時間、休日は10時間くらいだったと思います。これだけ聞くと、高校生活を楽しまず、受験勉強一直線のように思えますが、そうではありませんでした。例えば野球部に所属し部員と共に甲子園を一生懸命目指すのと同じように、私と同じく受験勉強に邁進する友人と、それぞれの志望校を目指して、共に勉強し、共にわからない問題について考え、そして競い合いました。そしてもちろん、共に遊びました。定期テストが終わる度に、カラオケに行っては3ヶ月分の歌を歌い、帰りに王将にも行ってました。

学校行事も全力で楽しみました。体育祭、球技大会、文化祭、修学旅行。それぞれの行事の準備が始まると「やるからには全力で」というように、メリハリを付けて楽しんでいたように思います。

現在の仕事を目指したきっかけは 何ですか

直接のきっかけは、就職活動の直前期、「同じ働くなら、給料で決めず、誰かのためになる仕事をしよう」と考えていた時、たまたま国家公務員採用説明会の存在を知り、実際に参加して厚生労働省で働いている職員の方からお話を伺ったことです。その職員の方は、「自分の家族や友人が困った状態になったとき、手厚い手当がもらえるような国の制度を創りたい。その結果、家族や友人だけでなく、広く一般の方に対し、手厚く保護される制度が生まれ、私の知らない誰かがひとしなみに安心して暮らせる世の中になって欲しい。それができるのは厚生労働省だ。」とおっしゃっていました。私は、そのお話に魅せられて、厚生労働省の門を叩きました。

現在の仕事に関わるために 努力したこと・苦労したことは何ですか

特別なことはしませんでした。ただ、大学時代、できるだけいろいろな分野・世界と関わり、自分自身が人間的に偏らないように心がけました。例えば、工事現場の作業をしたり、事務作業や棚卸しをしたりする中で、これまでの人生であまり関わりのなかった方々とコミュニケーションを取りました。

現在の仕事に関わるために 必要な知識・技能・資格は何ですか

国家公務員には様々な採用区分が存在し、その採用区分ごとに試験と受験資格が異なります。仮に私と同じく国家公務員事務系総合職採用区分で

あれば、大卒又は院卒相当の学位があれば受験可能です。合格するためには、ペーパーテストと面接をクリアしなければなりません。特別な能力（英語が堪能である等）は必ずしも必要ではありません。

現在の仕事でご自分の人生に与えた 意味は何でしょうか

まだわかりません。しかし、今後、「これは自分にしかできない。自分がやらなければいけない。」と真剣に思えるようなテーマに巡り会い、それに一生懸命取り組むことで、充実した人生が送れるのではないかと考えています。

将来の目標・夢を教えてください

「あってよかった!」と思えるような制度を、まずは一つ創ってみたいと思っています。

在校生へのメッセージを お願いいたします

ちょうど10年前、私は大阪学芸高校の3年生、センター試験を控える受験生でした。当時、10年後の自分など全く想像もつかなかったです。将来なりたい自分が確立していた訳でもありません。一生懸命受験勉強しましたが、今思えば、大学受験は「なりたい自分」になるための「手段」ではなく、「目的」となっていました。「先のことはよくわからないから、とりあえず今後の自分のために勉強をしよう」。受験生という身分が私に与えた課題を単にこなして、自己満足を得ていただけでした。その結果、大学生になって、時間も自由になり、好きなことが何でもできるはずだったのに、長い間何の行動もせず、ふらふらと時間を浪費しました。

ただ、最後に進路を決めるとき、高校時代の経験が背中を押してくれました。つまり、「自分のためにやっている受験勉強で結果が出ると、家族や友人、そして先生方が喜んでくれたこと」。「自分のためにやっていることが、ひいては誰かが喜んでくれる源となること」。この原体験が力となって、今は厚生労働省という場で、もがき苦しみながらも、誰かの暮らしのために様々な仕事をしています。

私の場合はたまたま受験でしたが、それに限らず、部活や趣味など、真剣に取り組めることなら何でもいいと思います。

高校時代は真剣に取り組めることを見つける最良の時期です。そして、私が知っている大阪学芸高校は、それを見つける様々な機会を提供し、そして皆さんの決定を後押ししてくれるところです。

皆さんが見つけた「何か」は、10年後、どこで何をやっていても、必ず助けになります。

現在なされている仕事について 教えてください

私は2018年4月より、国家公務員として、厚生労働省健康局結核感染症課（難病対策課併任）という部署において仕事をしています。

厚生労働省は、医療・健康・介護・年金・子育て・障害福祉・食品安全・労働・雇用など、非常に幅広い分野における国の制度を所管しています。加えて、どの分野も国民生活と密接しているため、マスコミの注目も集まりやすく、自分が関わった業務がその日のニュースとして報道されたり、次の日の朝刊に載っていたりすることも多々あります。

そして、厚生労働省の扱っている分野が幅広いだけでなく、実際に行う業務の性質も非常に多岐に互ります。基本的には、関係各所との調整事務や資料作成、上司への報告・連絡・相談や自治体からの電話対応などですが、例えば、私のような2年目の新人職員でも、朝の掃除当番といった新人定番業務から、果ては国会答弁の作成、国会議員への説明、そして法律案作成などにも携わります。私はまだ経験したことがないのですが、国際会議に出席するため、スイスやパリに出張した同期もいます。

それ故、プレッシャーもかかりますが、他の業種や職種では経験できないやりがいを得られる職場です。

在校生の活躍



目指せJ1出場！活躍！

高校3年 藤尾 翔太 さん

▶サッカーを始めたきっかけは

父と兄がサッカーをやっていて、いいなと思ったのがきっかけです。小学1年生で興味を持ち始め、小学3年生から本格的に取り組みました。観戦するよりプレーする方が大好きです。



▶サッカーを続ける中で良かったこと、辛かったことは

サッカーを続けてきて一番良かったと思うのは、小さい頃からやりたかったことを仕事にできるということです。

辛いことは、練習面ではあまりありません。ただ、プレーのうまいかない時が続いて、どうしたら良くなるのかが見付からず、直らない時は結構きついです。そういう時は、トレーナー・ドクターなど多数いらっしゃるセレッソのスタッフの方々に相談します。

▶試合前の気持ちは

中学生の時は緊張していましたが、最近はしません。ルーティンというか、サッカーをする前に必ず取り組むことはあります。自分の身体のメンテナンスとして、ストレッチを6種類くらい入れ、筋肉の刺激を3・4種類入れます。練習で出来なかったことが試合で出来る、というのは結構あります。急にポンッと出るので、すぐ行動に移します。

▶家族との関係は

寮生活なので、試合を見に来てくれる時に会います。結構来てくれるので、ありがたいと思います。年末はオフシーズンなので家に帰ります。



【経歴】
 ・RIP ACE SC(第3種)-C大阪U-18
 ・2018、19年セレッソ大阪2種登録選手(トップチームでの背番号は42)

【代表歴】
 ■2017年 U-16日本代表
 4月 フランス遠征
 6月 インターナショナルドリームカップ
 ■2018年 U-17日本代表
 2月 UAE遠征
 10月 日メコン交流大会
 ■2019年 U-18Jリーグ選抜
 U-18日本代表
 2月 スペイン遠征
 3月 UAE遠征
 8月 SBS杯
 9月 スペイン遠征
 セレッソ大阪 2020シーズン
 加入内定

小さい時は送り迎えしてくれたからこそ練習に打ち込めました。中学生になったら、練習が終わって22時頃に帰宅するとご飯を作って待っていてくれたので、本当にありがたかったです。

▶学業と両立させるために実行している努力工夫

テスト1週間前から普通に勉強します。提出物は必ず出します。欠席分は登校したときに友達に見せてもらったりし、出来る努力はしっかりやります。

▶今後に向けての抱負及び将来の目標は

近い目標としてはJ1リーグに少しでも早く出場して活躍し、そのままJ1リーグですべて仕事を続けたいと思っています。



本校女子サッカー部初！セレッソ大阪堺レディース加入内定！

高校3年 岩本 まりの さん 本校女子サッカー部所属

▶サッカーを始めたきっかけは

兄がサッカーをしていて、練習を見に来て行かれて、楽しそうだなと思ったのがきっかけです。6歳の頃に地元のサッカークラブに入りました。

▶サッカーを続ける中で良かったこと、辛かったことは

良かったことは、U-17代表候補合宿に参加できたことです。サッカーを続けてきた中で初めての経験で、海



外の選手の能力の高さや日本代表として参加している選手のレベルの高さを感じ、その後の私の活動にとっても良い経験となりました。

辛かったことは、怪我をしてしまったことです。9月に大怪我をしてしまい、サッカー部で仲間とボールを蹴ることがもうできないと考えたときは本当に辛かったです。

▶学業と両立させるために実行している努力工夫

両立させるために、学校の授業を大切にしています。放課後に練習をして、家に帰る時間は遅くなってしまいますので、学校にいる間に集中して授業を聞くことで、テスト前でも焦らずに部活動と勉強を両立させています。

▶今後に向けての抱負と将来の目標

今後の目標としては、まず怪我をしっかりと治して復帰すること、そしてレベルの高い選手も多い中でレギュラー争いに勝って試合に出ることです。

ぜひ試合に出て、チームの勝利に貢献したいと決意しています。



高校卒業後、セレッソ大阪堺レディースへの加入が内定しており、正直不安ですが精一杯頑張ります。



世界に誇れるアーティストになりたい!!

附属中 3年 林 玲那 さん
DJ ターンテーブルリスト

【本校入学後の出場試合・参加大会と成績・近況の話題】
 2017 DMC WORLD DJ champion
 2018 KAME WORLD classic champion
 2018 DMC WORLD DJ championship 3rd place
 2018 IDA WORLD DJ champion
 2019 Goldie Awards 出場
 ラグビーワールドカップ2019オープニングセレモニー出場
 2019 Annual DJ Battle(November 20th,2019 at Rock & Soul NYC)
 ニューヨークのDJオンラインバトル(映像を送って審査されるもの)で優勝



▶ラグビーW杯セレモニー出場の感想

実は、ラグビーW杯のことについてあまりよくわからないままの出場でした。W杯の各試合をTVで観戦し、こんなに素晴らしく名譽ある大会の開幕式に出場したことを改めて実感し、震えました。

▶セレモニー出場前の気持ちは

開始前、観客の入って

ないスタジアムでリハーサルに臨んでいると、関係者の方々の緊張感がひしひしと伝わってきました。私は実際にDJブースの前に立つまで規模感が理解できず、またスタジアムでのプレイが初めてだったので、音の反響などとても気になりました。いよいよ観客が入り、4万人の歓声を聞き、声援を浴び、一気にテンションが上がりました。

▶セレモニーが終了して

今まで味わったことのない声援を浴び、思わずスポーツ選手のように手を振って退場しました。

▶今後の抱負について

ラグビーW杯2019、また来年開催のオリンピック開幕式などに携わる関係者の方々が考えておられる凄い演出を身近で

体験することができました。これを機に、スタジアムやフェスに出場できる、世界に誇れるアーティストになりたい!と思いました。

最近、海外の活動も増え、より英語力が必須となってきました。自分の思いを相手に伝えること、相手の話を聞き取ることなど、今後できるだけ通訳なしで頑張っていかなければなりません。中2の時に結成したチームの相手はニュージーランド在住の15歳で、私と同じ世界タイトルを持っています。うまく通じないときもあるけれど、この1年、相手のおかげで英語力はアップしました。活動のないときは読書や勉強で自分を磨いています。

将来、世界を中心としたDJ・音楽プロデューサーとなり、アーティスト活動を広げていきたい。自信を持って、まだまだ進化していきます!

高校

1
年生

高等学校

校 外 学 習

見たいもの・知りたいことを仲間と探求

日時:10月18日(金) 場所:京都周辺

木々も往来もしっとりと濡れた雨の朝、JR京都駅あるいは京阪出町柳駅を起点とし、高校1学年校外学習が始まりました。

この学年は来年度実施の修学旅行を念頭に企画。まず、「世界遺産巡り」・「大学巡り」・「パワースポット巡り」・「御朱印巡り」・「三大祭拠点巡り」・「美術館・博物館巡り」の六つのコースからひとつを選択し、それぞれのコースメンバーから班を作成し、コーステーマに沿った地点・施設を探索・見学するプランを各班で自主的に作成しました。

当日はバス・地下鉄1日乗車券を駆使して拠点を繋ぎ、効率よく移動するすべも実体験しながらそれぞれの「京都」経験を重ねていきました。

帰阪後、「そこに行きたいと思わせるポスター（個人）」及び「1日のレポート（班メンバー共同）」を各班で作成し、班メンバー共同作成レポートを用いてコース毎にプレゼンテーションを行いました。キャッチコピーと写真を上手に配置した魅力あるシートでのスライドショーに、拍手しきりの発表会となりました。

クラスを越え、見たいもの・知りたいことを共有する仲間とチームを組んで臨んだ校外学習。ここでの経験を活かし、修学旅行に向けての諸活動に繋げていこうと考えています。



2
年生

高等学校

校 外 学 習

新聞で知らせよう! 神戸の街

日時:10月18日(金) 場所:神戸周辺

第2学年の校外学習のメインテーマは「新聞で知らせよう! 神戸の街」です。自然、異文化、近代化に囲まれた「神戸」を散策し、新たな発見と、自分の五感で感じたことを新聞にまとめ、他者に発信することを目的としました。

午前中には、新神戸駅を訪れ、まずロープウェイに乗車し、摩耶山の山頂を目指して10分間の空中散歩を堪能しました。神戸の街並みを一望できる絶景に、感激した生徒も多かったようです。

山頂に到着し、各班での散策開始です。山中にある布引ハーブ園では、お花畑で記念写真を撮影したり、ハンモックで寝そべったり、思い思いに楽しんでいました。山の中を歩くという経験をしたことが無い生徒にとっては、過酷だったと思いますが、滝のマイナスイオンをたくさんもらいながら、自然を満喫していました。

その後は、班ごとに考えた行程表に基づき、事後学習の新聞作成のため、調査・散策を行いました。王子動物園、北野異人館街、三宮駅周辺、南京町、ハーバーランドを訪れる生徒が多くいました。



シャーロックホームズについて、生田神社でおみくじについて、南京町の人気土産、アンパンマンミュージアムの人気の秘密など、様々な観点を多様な角度から調査していました。普段インターネットから情報を入手することが多い生徒にとって、店員さんに直接聞き自分の耳と足で調べ学習を行ったことは、貴重な経験となりました。

最後にメリケンパークに集合し、各クラス集合写真を撮影し解散しました。天候が心配された一日でしたが、散策中は特に雨に降られることもなく、無事に行程を終了しました。

最後にメリケンパークに集合し、各クラス集合写真を撮影し解散しました。天候が心配された一日でしたが、散策中は特に雨に降られることもなく、無事に行程を終了しました。



事後学習では、新聞作成専用の用紙を担任の先生から受け取り、それぞれ作成にあたり

ました。SNSで情報を発信する形とは違い、伝えたいことを活字に表すことは非常に難しいものがあります。他者の目を惹きつけるためにはどう書けばいいか考え、見出しやイラストに工夫を凝らしている生徒が多くいました。クイズ形式や番付形式、インスタグラムのようなデザイン、とび出す絵本のような形で作っている生徒もいました。一人ひとりの工夫がとても面白く、「新聞」といえど多様性に帯びた生徒たちの想像力と創造力に驚かされるばかりでした。



おめでとうございます！

今学期も部活動や個人で多くの生徒が活躍しました。
その成果のうち、主なものの紹介です。
なお、紹介されているのは7月から11月までの成果です。
12月以後についてはホームページをご覧ください。



高等学校 海外試合

ブレイクダンス

3年	半井重幸	バーミンガムで行われたBREAK MISSIONにて 優勝 イタリア HHC Arena 2019 Bboy 1vs1 Open 優勝
2年	藤田 凜	台湾 Respect Culture 優勝

クラシック・バレエ

2年	平田杏里鈴	KIBC 韓国国際バレエコンクール 優勝 ※この結果から、イングリッシュナショナルバレエスクール、アルバータバレエスクールのスカラシップ、キエフ国際バレエコンクール、上海国際バレエコンクールの出場権を獲得
1年	西辻 雛	ジャパン・エストニア・ウクライナ国際バレエコンクール Bグループ部門 第2位

女子サッカー

1年	荻久保優里 朝倉加奈子	AFC U-16 woman's championship Thailand 2019 優勝
2年	田畑晴菜	U-19日本女子代表として AFCU-19女子選手権タイ2019に出場 優勝

空手道部

1年	雪野正博	Karate-1 Youth League Mexico 2019 JUNIOR KATA MALE 第5位
1年	大成輝波	Karate-1 Youth League Mexico 2019 CADET KATA MALE 優勝

BMX

1年	野村風沙	UCI BMX world championships 24インチ 13歳～16歳クラス 決勝進出 第8位 20インチ 16歳クラス 準々決勝 第5位
----	------	---

モトクロス

1年	楠本菜月	LORETTA LYNN MX Girlsクラス 第5位
----	------	-------------------------------------

バトントワリング

2年	塩見華凜	第10回 WBTF国際ショナルカップ アーティストィクトワール 女子ジュニアII 第7位 IBTFグランプリ大会ソロワール 女子ジュニアII 第12位
----	------	---

高等学校 全国大会

女子サッカー

1年	佐藤千優	U-16日本女子代表候補8月国内合宿に参加
女子サッカー部		令和元年度第74回大阪高校総合体育大会 準優勝 第28回全日本高等学校女子サッカー選手権 関西大会 第3位 ※この結果から、全国大会への出場が決定

サーフィン

1年	澤田海晴	生見海岸で行われた大阪支部予選 第5位 ※この結果から、第54回全日本サーフィン選手権大会に出場
----	------	--

空手道部

2年	大東真子	第74回国民体育大会 いきいき茨城ゆめ国体2019 空手道の部 少年女子組手個人戦 第5位
----	------	---

高等学校 関西・近畿大会

水泳

1年	稲岡莉那	2019年度大阪高校新人水泳競技大会 女子 400m自由形 4分38秒65 第8位 第3回近畿高等学校選手権 新人水泳競技大会 女子 400m自由形 4分41秒07 第18位
----	------	--

囲碁・将棋

2年	三原 涼	第15回大阪府中・高等学校将棋選手権夏季大会 個人S級 優勝 第39回近畿高等学校総合文化祭京都大会 個人S級 準優勝
----	------	--

附属中学校 世界へ

クラシック・バレエ

3年	藪内 暁大	Youth America Grand Prix 2020 日本予選 シニアの部門 クラシック部門 男性 第1位 (L'union Ballet所属) ※YAGP日本予選は日本で行われるコンクールの中では最上級のコンクール。未定ですが来年4月にNYで行われるファイナルの出場をかけた大会
----	-------	--

ブレイクダンス

2年	吉川 琉	HIPFEST 2019 出場
----	------	-----------------

附属中学校 全国へ

空手道部

1年	白井大誠	第53回大阪府空手道選手権大会 中学1年男子組手 優勝
1年	宮下遼太郎	第53回大阪府空手道選手権大会 中学1年男子組手 準優勝
1年	植原 蓮翔	第53回大阪府空手道選手権大会 中学1年男子組手 第3位
1年	村山 鈴音	第53回大阪府空手道選手権大会 中学1年女子組手 優勝
1年	竹綱 万葉	第53回大阪府空手道選手権大会 中学1年女子組手 準優勝

※この結果から、3月に埼玉で行われる彩の国杯全国中学生空手道選抜大会に大阪代表として白井、宮下、村山、竹綱が出場

ピアノ

2年	吉田 龍司	第29回日本クラシック音楽コンクール 中学校 男子の部 大阪地区本選 優秀賞 ※この結果から、12月に行われる全国大会への出場が決定
		第21回洗足学園ジュニア音楽コンクール ピアノ部門にて予選通過 ※この結果から、2月に行われる全国大会への出場が決定
		第29回日本クラシック音楽コンクール ピアノ部門 中学校 男子の部 兵庫地区本選 優秀賞 ※この結果から、12月に行われる全国大会への出場が決定



全国大会 出場決定!!

女子サッカー部

まだ見たことのない景色を
全員で見に行きます!

女子サッカー部主将

高校3年

なかお 純菜

皇后杯は、年齢に関係なくレベルの高いチームが多く出場する大会です。チームとして初めて皇后杯の全国大会に出場することが決まったときは、とてもうれしく思いました。大きな舞台で年代の違う相手と対戦して、技術や判断、経験値の差を突きつけられました。ただ、厳しかった状況の中でもチームとしてやろうとしていることが通用した場面もありました。皇后杯は自分たちのチームにとって大きな経験を積むことができ、もっと強くなりたいと決心する大会になりました。

選手権大会では、2年前の結果であるベスト8を越せるように、部員49人全員で戦いたいと思っています。全国大会で勝つためには、ピッチに立つメンバーだけでなく、チーム全員がそれぞれの立場で全力を注ぐことが必要です。私自身は、主将としてチームのことを一番に考え、高校最後の大会を全力で楽しみながら戦い抜きたいと思っています。高校3年生としては3年間の集大成、このチームとしては今年1年間の集大成を、選手権という最高の舞台で見せたいと思います。そして、今までに見たことのない景色をチーム全員で見に行く決意です。

第41回皇后杯JFA全日本女子サッカー選手権大会

●11月2日(土) テクノポート福井スタジアム
大阪学芸高校 1 - 4 岡山湯郷Belle で敗退

第28回全日本高校女子サッカー選手権大会関西大会

●11月9日(土) 三木防災第2陸上競技場
大阪学芸高校 1 - 0 神戸弘陵学園

2020年1月3日開催 全国大会への出場権を獲得

●11月16日(土) 三木防災第2陸上競技場(準決勝)
大阪学芸高校 0 - 0 日ノ本学園 (PK 3 - 4)

●11月17日(日) 3位決定戦
大阪学芸高校 4 - 0 京都精華高校

3位決定

今シーズンの戦績

インターネット出願受付中!!

出願期間

各試験日2日前の
12:00(正午)まで

入試日程

●1月入試
1月18日(土) 学科試験
1月19日(日) 面接試験

●2月入試
2月11日(火・祝) 学科・面接試験とも

入試方式

- 1) 一般入試 …… 専願・併願
- 2) 英語資格入試 …… 併願
- 3) 特技入試 …… 専願*
- 4) 帰国子女入試 …… 併願

*出願に先立って「受験資格確認」申請が必要

求める生徒像

小学校の教科書内容の
基礎的な内容を
理解している児童

元気で明るく
いきいきと小学校生活を
過ごした児童

小学校6年間で
何か1つがんばった経験と
実績のある児童

頑張っている
小学生を応援!!

- 英語資格入試・奨学金制度あり
- その他特待制度あり



学校法人 大阪学芸
大阪学芸高等学校附属中学校

お問い合わせ

〒558-0003 大阪市住吉区长居1丁目4番15号
TEL 06-6693-6301 FAX 06-6693-5173

詳しくはWEBへ

大阪学芸 附属中 検索